



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」
R.I. 会長 ロン D・バートン
地区ガバナー 吉 田 建 二
クラブテーマ 「参加し行動しよう」
クラブ会長 藤 掛 靖 元

本日の卓話

「温故知新～創業 300 年の企業経営について」

(株)黒江屋 取締役社長・東京ロータリークラブ会員 柏原孫左衛門 様

今後の卓話予定

12/11 「100 年企業の法則」
トウマコンサルティンググループ 理事長 藤間秋男 様
12/18 夜間例会 クリスマス家族会
12/25 休 会 (年末)



2013 年 12 月 4 日

第 1340 回例会

会長 藤 掛 靖 元
幹事 伊 石 佳 高



12 月のお誕生日祝

8 日 (60 才) 宮崎守弘君 10 日 (60 才) 後上 清君
11 日 (72 才) 井田健爾君 21 日 (60 才) 浜中 清君

前回 (11/27 1339 回例会) の記録

11/20 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 0名
◆ビジター 4名
青森三戸R.C. 大庭紀元 様
東京浅草R.C. 小田切満寿夫 様・小林正巳 様
東京上野R.C. 丸山 進 様

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
47 名	3 名	3 名	38 名	4 名	90.48%	1337 回例会修正 欠席 7 名・出席率 82.50%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 < 藤掛会長 >

・先日23日、地区ローターアクト主催の親睦行事「山手線ツアー」に参加致しました。参加者は山尾さん、齋藤さんと私です。13時より五反田の東興ホテルにてまずはローターアクトの例会、ローターアクト約40名、ロータリアン12～3名が参加致しました。その後6つのグループに分かれ自己紹介の後山手線ツアーに出発。各駅にお

題とポイント数が決められております。目黒駅・目黒不動尊の本堂前で写真撮影 (3点)、恵比寿駅・ガーデンプレイスにある時計台の前で集合写真撮影 (2点)、駒込駅・六義園入口を撮影 (1点)、染井吉野桜記念公園で撮影 (3点)、秋葉原駅・AKB劇場の前で「フライングゲット」のポーズで写真を撮る (2点)、有楽町駅・隠れっこモニュメント、ポール時計 (共に

東京銀座RC寄贈)の写真を撮る(各2点)等々。駅から約15分以内の施設、寺社、公園、お店等が示されその写真を撮り大会本部へメールで送るわけです。ポイントは駅に近い、発見し易いものは1点、駅から遠い、発見し難いものは3点等で作戦としてはポイントの低い駅を多く回る、ポイント

の高い駅に絞り点数を稼ぎ後の駅は捨てる、など各グループで工夫します。ゴールは懇親会場の新宿西口、魚民本店で18時が制限時間です。そこで表彰式。最後は懇親会で締めくくりました。

一日、子供に帰って楽しみながらロータリーの方々と大いに懇親を深めました。

幹事報告<伊石幹事>

- ・ 来年1月8日の新年初例会、浅草神社正式参拝の出欠を本日より取らせて頂きます。全員参加にてお願い致します。
- ・ 本日、例会終了後、例会場にて臨時理事・役員会を行います。5分以内に終了致しますの

で、理事・役員の方は宜しくお願い致します。

- ・ 来週、例会終了後理事・役員会を行います。理事・役員の方はご出席お願い致します。
- ・ 12月のロータリーレートは、1ドル100円です。宜しくお願い致します。

委員会報告

<親睦活動委員会 浜中委員長>

- ・ いよいよクリスマス家族会が近づいてまい

りました。皆様の棚に会費明細書を入れさせて頂きました。来週例会にてご集金致しますので、つり銭のない様お願い致します。

ニコニコボックス

<藤掛、伊石>

- ・ 山尾さん、宮村さん、本日の卓話よろしく
お願い致します。

<太田、岩戸、斎藤、尾泉、永井、小林(雅)>

- ・ 本日の卓話「米山・財団積立金について」
ロータリー財団委員会・米山奨学委員会、
よろしく申し上げます。

<山尾、宮村>

- ・ にわか勉強で、どこまで説明できるか、判りませんが、宜しくお願いします。

<折原>

- ・ 11月22日アサヒ商店街でギネス世界一になりました。同時くつみがきでサウジアラビアの451人から800人になりました。RCの

多くの参加ありがとうございました。

<浜中>

- ・ 先日、ゴルフ同好会(日光CC)で初めて、優勝させて頂きました。来期より同好会幹事もお引き受けしましたので、頑張ります。ありがとうございました。

<宮村>

- ・ 小池さん、岡崎さん、先日の同期会大変お世話になりました。皆大喜びで楽しく過ごす事が出来ました。

<関原、原田、古谷、藤田、井田、海内>

- ・ ケネディ駐日米大使、日米間の架け橋になってください。

<藤掛>

- ・ 結婚記念日の花束ありがとうございました。

「ロータリー財団 & 米山奨学事業について」



米山奨学委員会
宮村義男君



ロータリー財団委員会
山尾尚司君

I. ロータリー財団について

1917年に国際ロータリー会長のアーチ・クランフより基金として創設された。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリアンをはじめ、財団支援者の方々からの自発的な寄付によって支えられ、当寄付は、ロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

1. ロータリー財団への寄付について

- ① 年次基金寄付：地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源で、会員一人当たり 150 ドル以上を目標
- ② 恒久基金寄付：ロータリー財団とそのプログラムや補助金の長期にわたる存（ベネフェクター）続を確実にするための基金で、基金の投資収益を使用する
- ③ 使途指定寄付：ポリオプラスやロータリー平和センター等使途を指定した寄付金

2. 地区補助金について

地区補助金は、2年間の業務サイクルとなり、1年目に計画と申請を行い、続く2年目に補助金プロジェクトを実施する。

2014～2015年度に実施するロータリー財団補助金については

2013年7月 募集開始 → 9月末日締切り → 10～12月頃クラブ面談

<地区補助金支援基準（暫定）>

- ① プロジェクトへの補助金支援額は 40 万円を上限とし、プロジェクト総費用 予定額の最大 80%を補助する
- ② 2015年6月末日までに完了するプロジェクトを対象とする
- ③ 同一クラブからの地区補助金プロジェクトは1件を上限とする
- ④ 同一プロジェクトへの支援は連続した年度で行わない
- ⑤ 応募の多い場合は、同一クラブへの支援は連続した年度で行わない
- ⑥ 財団本部最終承認日前の地区補助金奨学金並びにプロジェクトの支出は認められない

3. グローバル補助金について

長期戦略的な観点から、大きな影響をもたらす、地区やクラの活動に活用できる補助金です。2013 - 14 年度のプロジェクト候補は、東京 RC がホストスポンサー 気仙沼 RC と提唱する「東日本大震災被災地、気仙沼における母子支援プロジェクト」50,000 ドルと東京上野 RC がホストスポンサー インディエリ RC と提唱する「インド緑内障患者救済プロジェクト」5,250 ドルがあります。

4. ロータリー財団認証制度

ポール・ハリス・フェロー : 1,000 ドル

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー : 1,000 ドル毎に授与され、寄付額に応じてレベルに相当する宝石の付いた襟ピンが贈呈される

II. ロータリー米山記念奨学事業について

1952 年に東京ロータリークラブが、日本のロータリー創始者、故米山梅吉翁の偉業を記念し、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成し国際親善と平和に寄与したいとの目的から、(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

1. 公益財団法人米山記念奨学会への寄付について

①普通寄付金：日本の全ロータリアンからの定期寄付で、各クラブからの定期寄付で、各クラブで決定した金額×会員数分を半期に一度送金

②特別寄付金：個人・法人・クラブからの任意寄付金、税制の優遇処置が可能

2. 寄付に対する表彰制度について

第 1 回米山功労者・10 万円 第 2～9 回 (以降、10 万円毎)・20～50 万円

米山功労者マルチプル・60～90 万円 米山功労者メジャードナー・100 万円～

III. 米山奨学&ロータリー財団積立金について

2001-02 年度に私がロータリー財団委員長、松崎さんが米山奨学委員長に選任された時に協議して、会員に毎日 100 円、月額 3,000 円の積立募金を、お願いすることにしたのが、現在の積立金の始まりです。

それ迄は、会長・幹事・両委員会の委員長・副委員長に寄付をお願いし易い会員が、ポケットマネーで 10 万円程度の浄財を出していました。

両委員会とも、会員による過去の全寄付金はリストに記録されております。

なお、寄付金は 3 月頃までに納付が要請されること、当積立金は 2002 年の 1 月から発足したこと等の理由から、1 月～12 月の総額を対象としており、ロータリー年度の会計とは違っております。

積立金は二等分を前提にしておりますが、ロータリー財団の寄付金はドル建てのため、円に換算した上で、会員 1 名に 150 ドル (前年度までは 100 ドル) を前提に計算し納付しています。

新入会員は、まず財団への寄付とし、2 年間程度を経た時点で会員のクレジットを加算してポール・ハリス・フェローへの申請を行い、次の年度は米山奨学へ、寄付し 10 万円に達した時に米山功労者として表彰されます。

その後は、状況に応じて配分しています。

この積立金は、退会時等、理由を問わず返金はありません。

ただ、形態としては自主組織ですので両委員長任せではなく、今後は代表からなる運営組織が必要でないかと思っております。